

a

$$\zeta = \frac{\text{ヒストグラムの負側の面積}}{\text{ヒストグラムの正側の面積}}$$

b

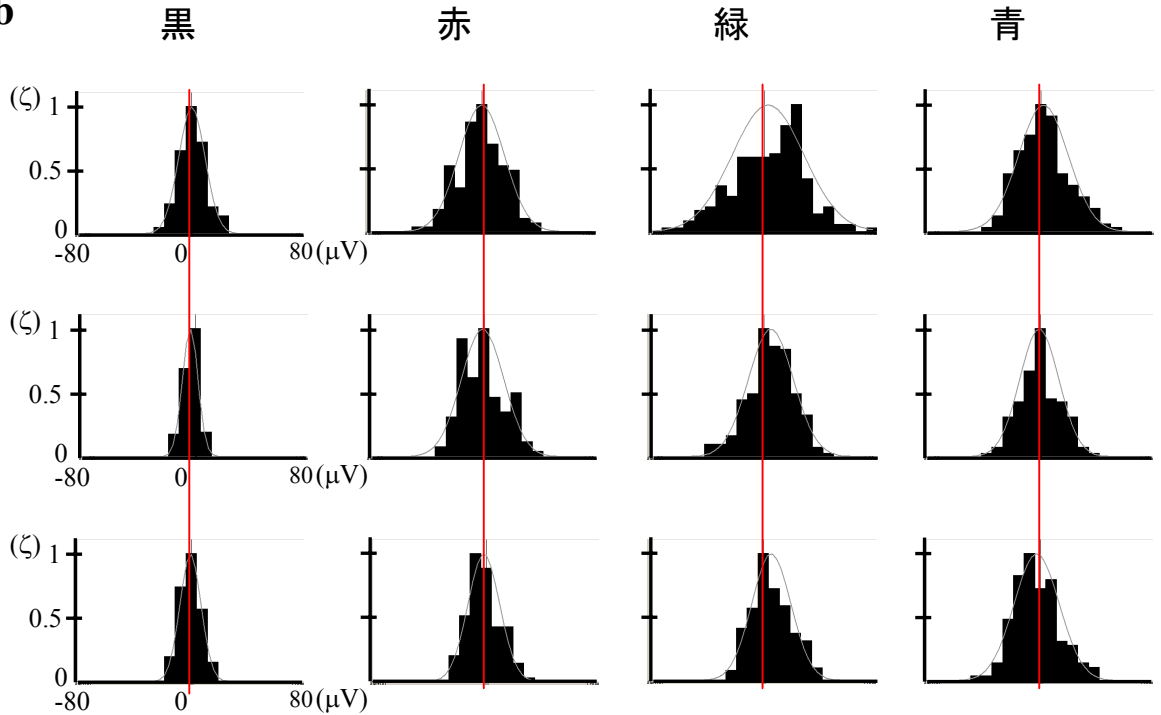


図31 V軸ヒストグラムの対称性と色彩嗜好の相関

a. V軸ヒストグラムの対称性を表すパラメータとして $\zeta$ を次のように定義した。 $\zeta$ =ヒストグラムの負側の面積/ヒストグラムの正側の面積。b. 好きな色の緑とそれ以外の色で、V軸ヒストグラムの分布に差が見られた典型的な例を示す。各ヒストグラムは、全面一色になってからの3秒間のもの。各色につき3回連続して呈示した3回分の結果を示している。原点軸は赤線で示している。この被験者では緑色のときのヒストグラムが正側に偏った分布を示し、 $\zeta$ が最も小さくなった。

a

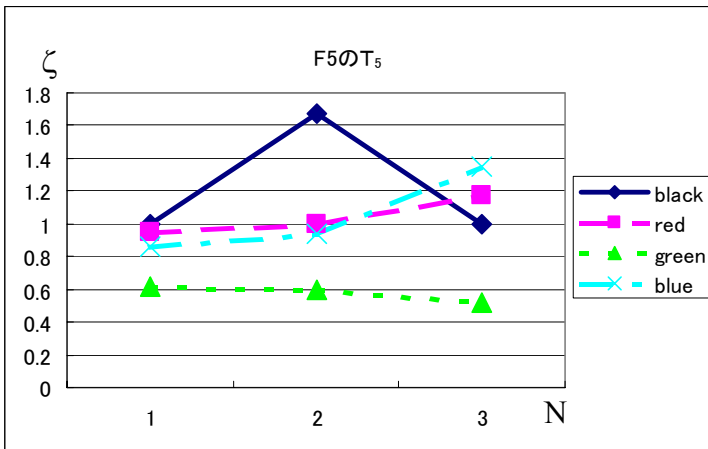
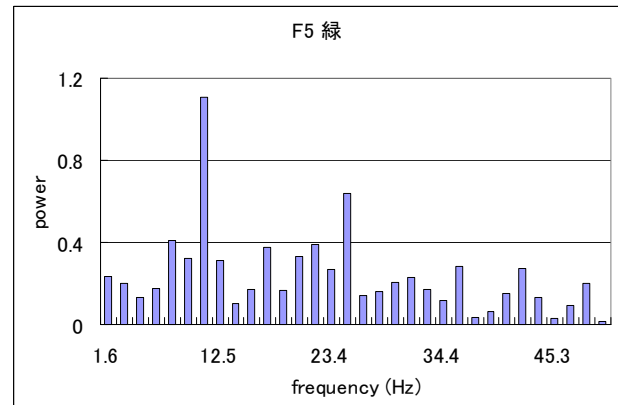
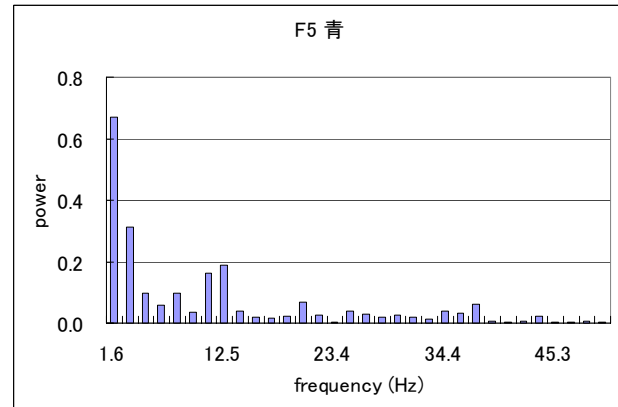
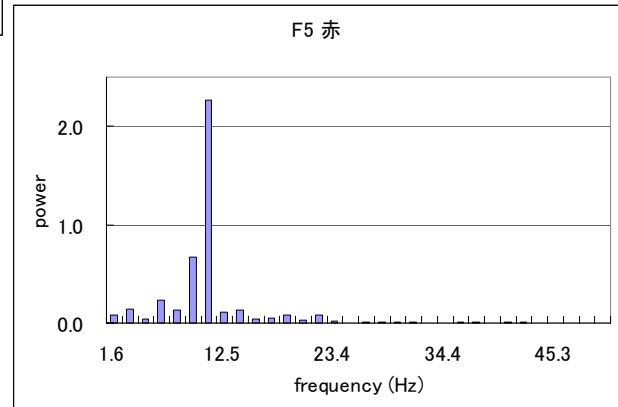
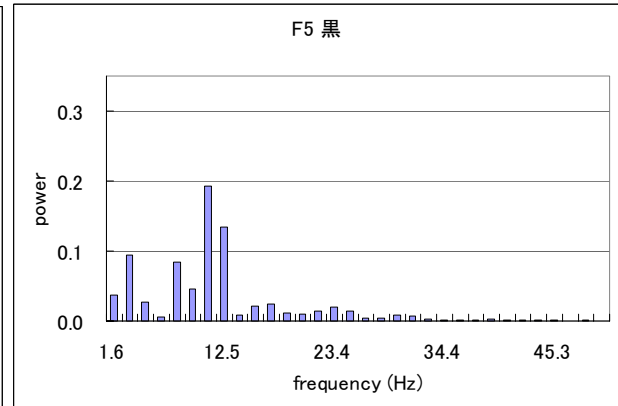


図32 F5の色彩嗜好とV軸ヒストグラムとおよびFFTパワースペクトル

a. 被験者F5の電極 $T_5$ における全面一色になってから3秒間のV軸ヒストグラム $\zeta$ を示した。各色につき3回連続して呈示したときの値を示している。好きな色の緑では、 $\zeta$ が最も小さく1未満である。b. aで用いたのと同じデータから瞬きを避けた短時間（1.1秒間）を抽出し、FFTを行い、各色毎に3回の平均パワースペクトルを求めた。上から順に黒,赤,青,緑である。FFTでは4色のパワースペクトルがお互いに異なり、色彩嗜好との相関を見出すことは難しい。

b



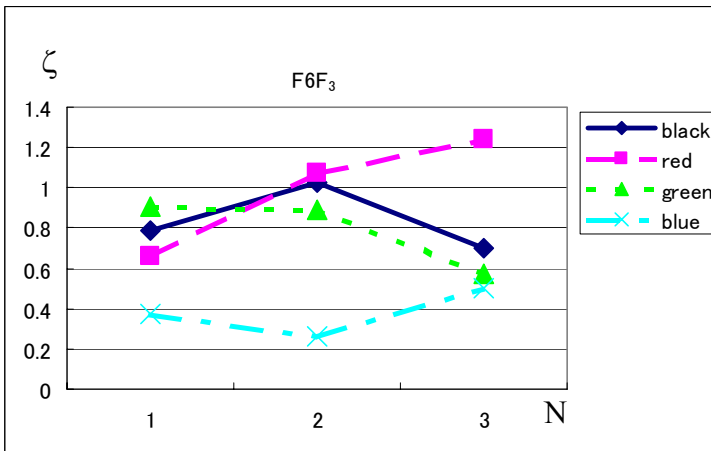
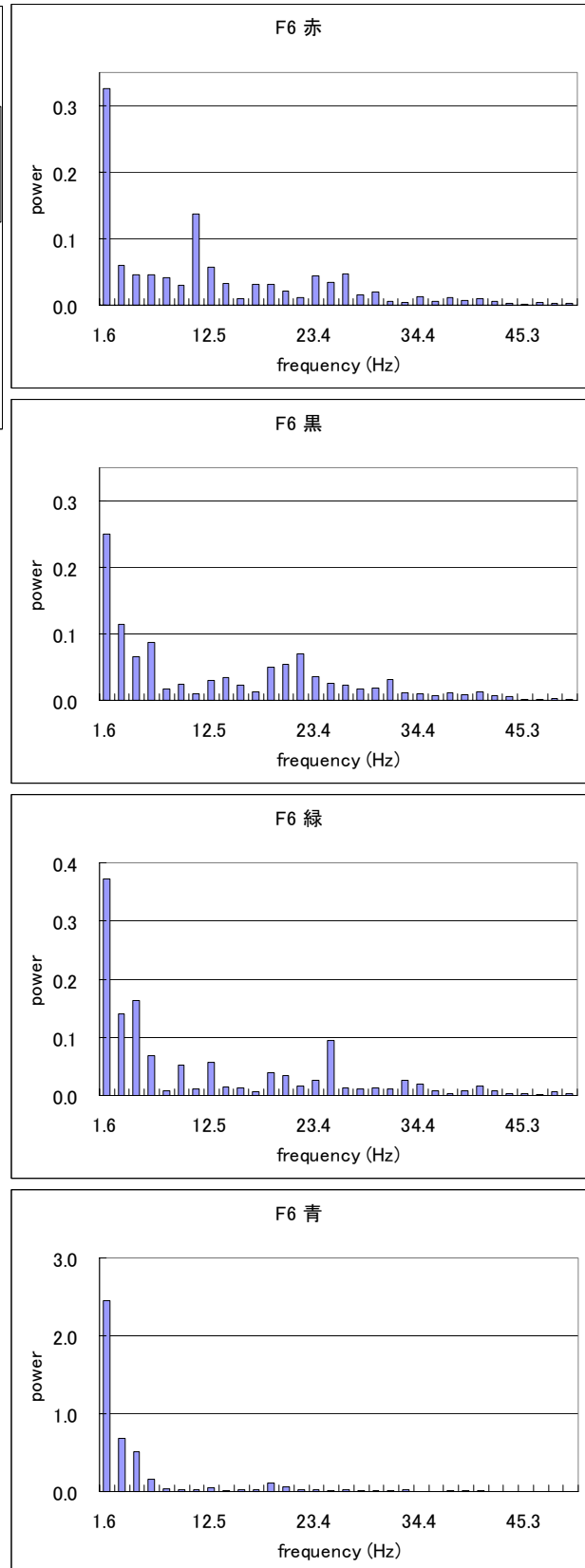
**a**

図33 F6の色彩嗜好とV軸ヒストグラムとおよびFFTパワースペクトル

a. 被験者F6の電極F<sub>3</sub>における、全面一色になってから3秒間のV軸ヒストグラムとを示した。各色につき3回連続して呈示したときの結果を示している。好きな色の青ではξが最も小さくなっている。b. aで用いたのと同じデータから瞬きを避けた短時間（1.1秒間）を抽出し、FFTを行い、各色毎に3回の平均パワースペクトルを求めた。上から順に赤,黒,緑,青である。FFTでは4色のパワースペクトルがお互いに類似しており、色彩嗜好との相関を見出すことは難しい。

**b**

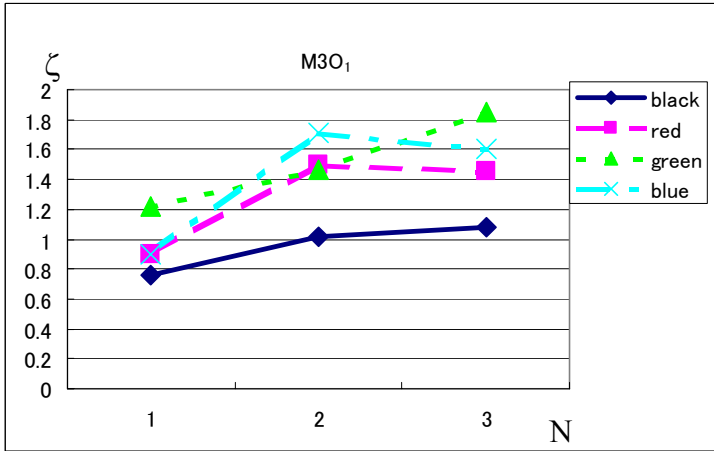
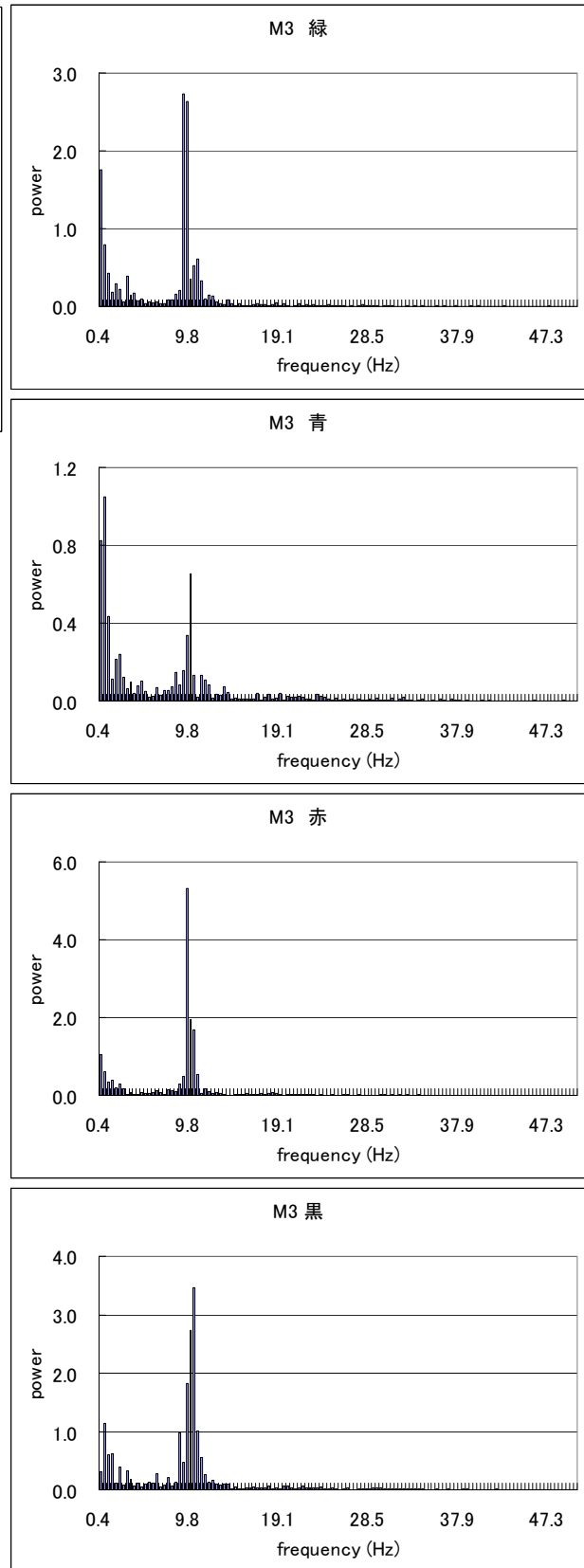
**a****b**

図34 M3の色彩嗜好とV軸ヒストグラムとおよびFFTパワースペクトル

a. 被験者M3の電極O<sub>1</sub>における、全面一色になってから3秒間のV軸ヒストグラムとを示した。各色につき3回連続して呈示したときの結果を示している。嫌いな色の黒ではとが最も小さく1付近の値を示した。  
 b. aで用いたのと同じデータにFFTを行い、3回の平均パワースペクトルを求めた。上から順に、緑,青,赤,黒の場合である。FFTでは4色のパワースペクトルがお互いに類似しており、色彩嗜好との相関を見出すことは難しい。